

ノリ養殖環境速報 KH-30-4 (播磨灘) 平成30年12月3日 発行

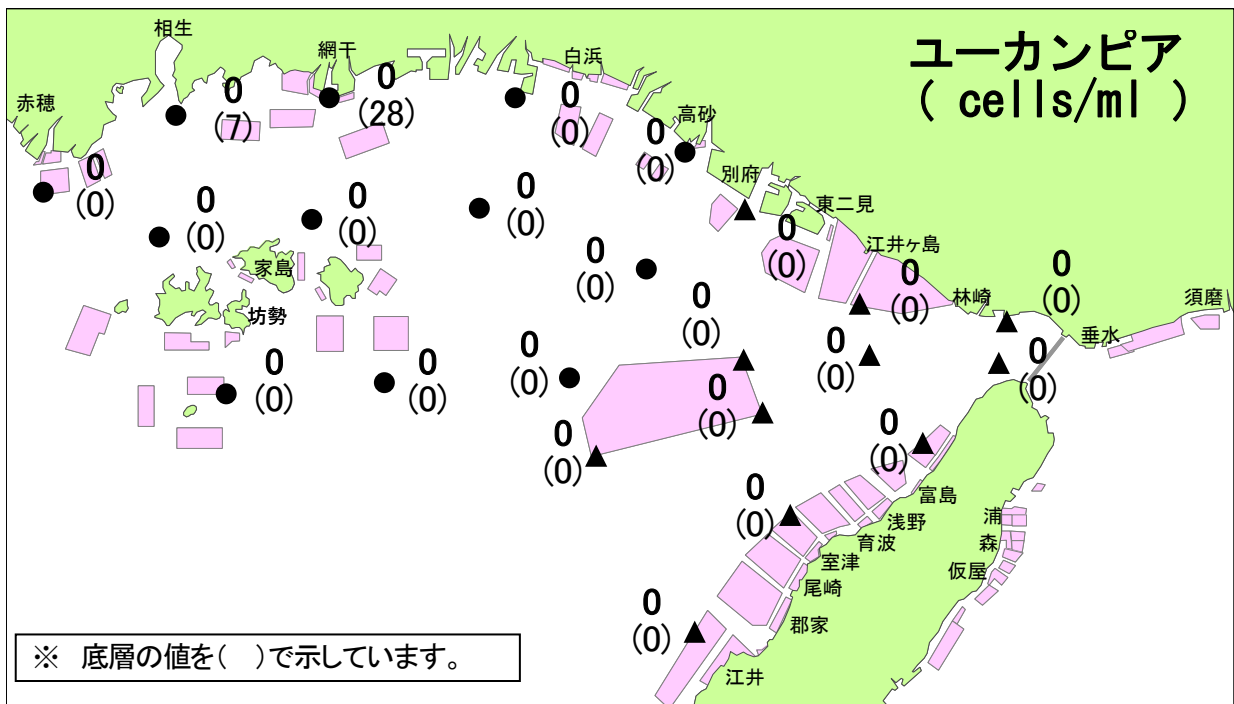
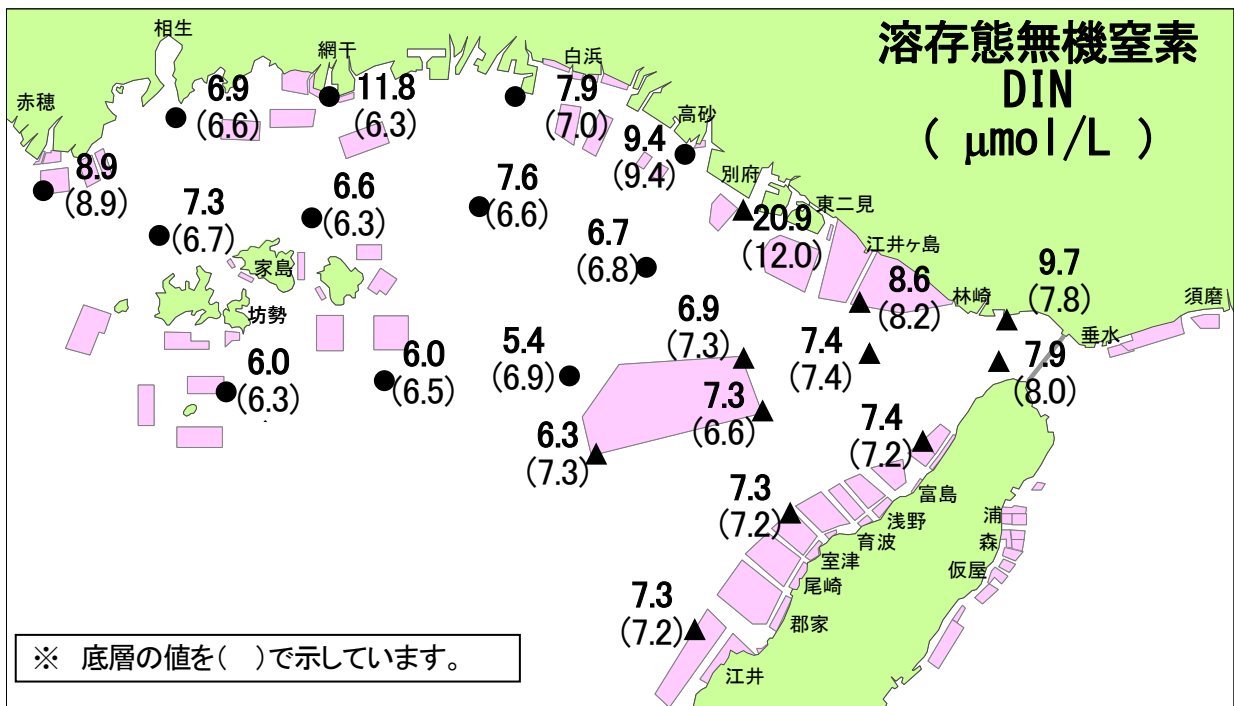
調査年月日：平成30年11月29～30日

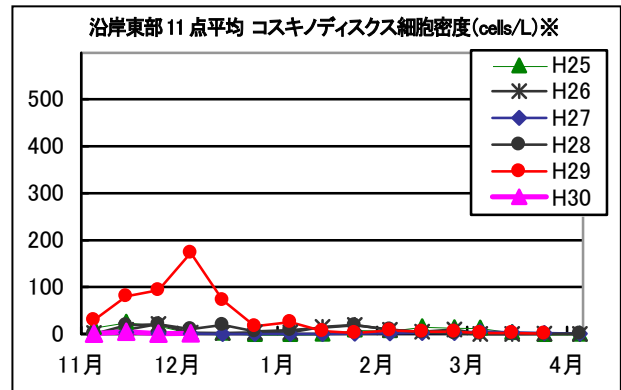
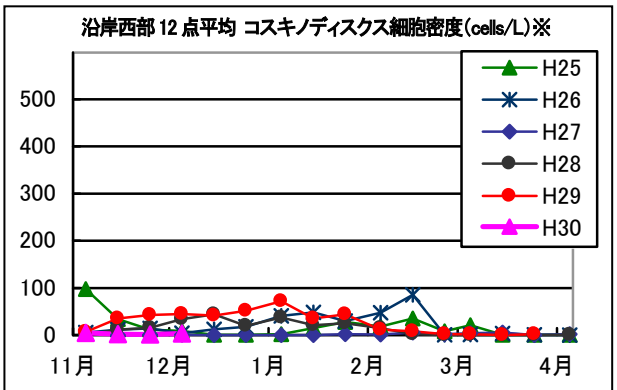
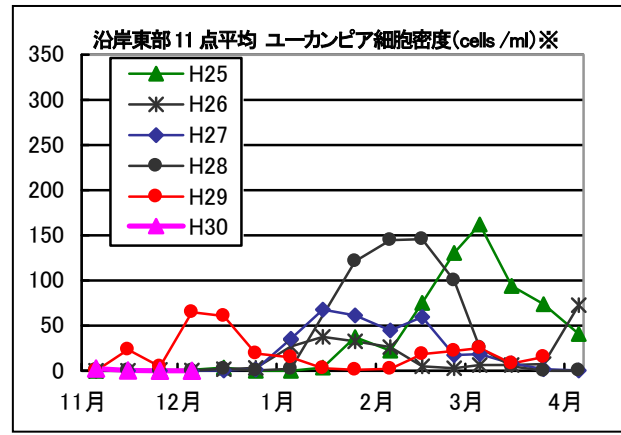
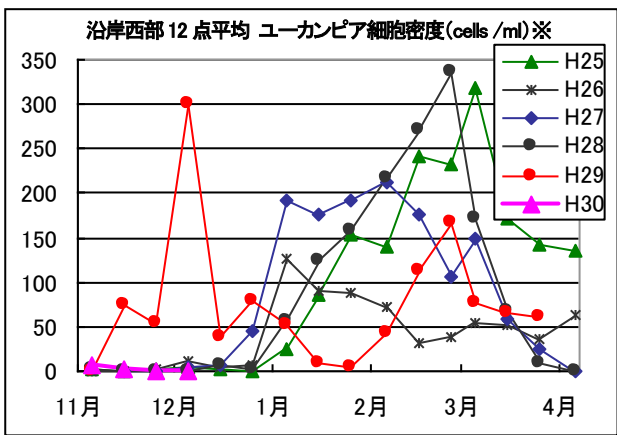
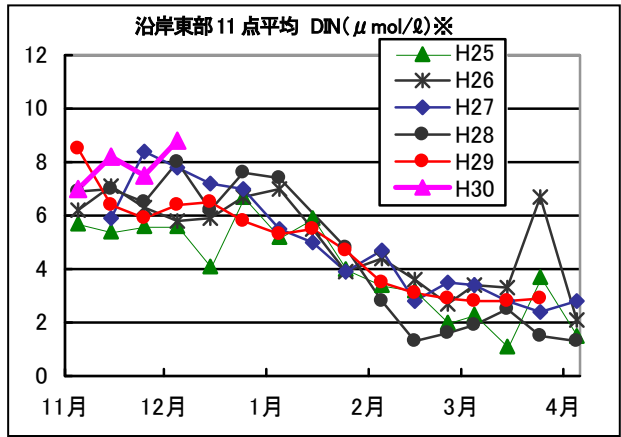
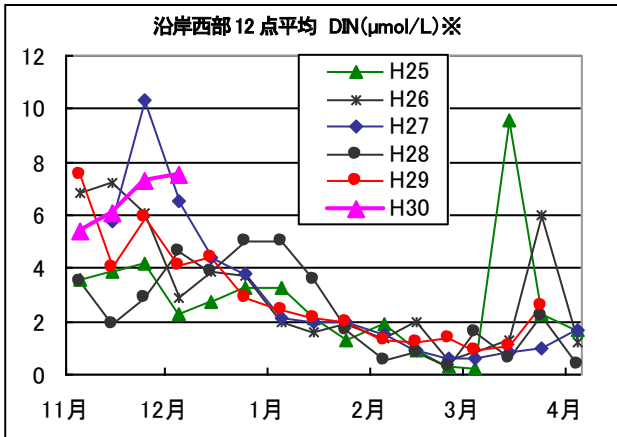
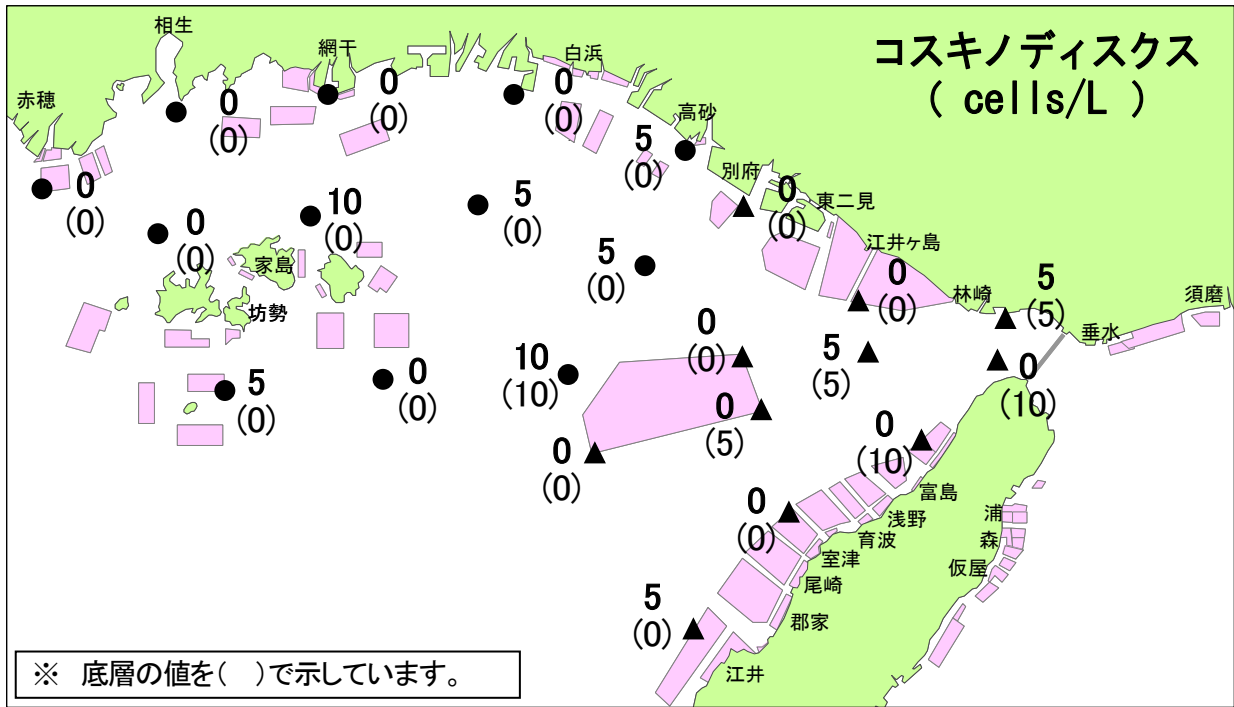
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘(調査海域)のDIN濃度は、5～12 $\mu\text{mol/L}$ で推移しています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは散見される程度、ユーカンピアは一部海域の底層でごくわずかに確認される程度です。北西部沿岸の一部海域では小型珪藻類が増殖し始めている海域もあります。

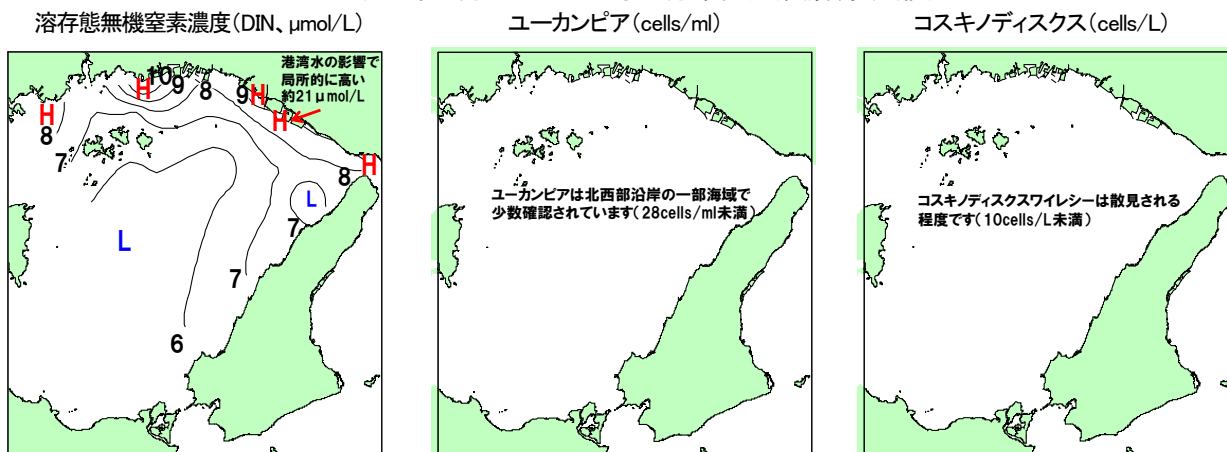
水温は、白浜以西では15.9～17.7 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では17.8～18.7 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で17.7～18.1 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では18.3～18.6 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では18.1～18.4 $^{\circ}\text{C}$ でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成30年11月29～30日の水平分布状況(表層、実測値)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層の DIN 濃度は概ね $5\sim 12 \mu\text{mol/L}$ でした。植物プランクトンは全般的に低密度でしたが、西播磨の一部沿岸海域では小型珪藻類（キートセロス、スケルトネマ等）の増殖がやや活発化してきています。大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは散見される程度、ユーカンピアは北西部沿岸の一部の海域で少数ですが確認されています。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みか多いとされており、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は現状維持程度と考えられます。

週間天気予報 気象庁 12月2日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、期間の前半は前線や湿った空気の影響で曇りや雨となるでしょう。期間の後半は冬の気圧配置となるため、雲が広がりやすく、北部では雪や雨が降る見込みです。

最高気温、最低気温はともに、期間の前半は平年より高く、平年よりかなり高い日もあります。期間の後半は平年並か平年より低いでしょう。

降水量は、平年並か平年より多い見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の調査（11/27）では、牛窓沿岸の DIN 濃度（表層）は $8.3\sim 9.6 \mu\text{mol/L}$ でした。同海域の大型珪藻のコスキノディスクスは $0\sim 20 \text{cells/L}$ 、ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下の URL から参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyohou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成31年4月上旬まで毎月3回程度（上・中・下旬）の発行を予定しています。
- ・次回は平成30年12月11日頃に発行する予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>